

## 国家戦略特区ワーキンググループ ヒアリング（議事録）

---

### （開催要領）

- 1 日時 平成29年5月12日（金）12:08～12:10
- 2 場所 永田町合同庁舎7階特別会議室
- 3 出席

#### <WG委員>

- |    |       |                               |
|----|-------|-------------------------------|
| 座長 | 八田 達夫 | アジア成長研究所所長<br>大阪大学社会経済研究所招聘教授 |
| 委員 | 原 英史  | 株式会社政策工房代表取締役社長               |

#### <関係省庁>

- |  |        |           |
|--|--------|-----------|
|  | 中辻 雄一郎 | 法務省民事局参事官 |
|--|--------|-----------|

#### <事務局>

- |  |       |                 |
|--|-------|-----------------|
|  | 佐々木 基 | 内閣府地方創生推進事務局長   |
|  | 藤原 豊  | 内閣府地方創生推進事務局審議官 |
|  | 福田 修  | 内閣府地方創生推進事務局    |

### （議事次第）

- 1 開会
  - 2 議事 サンドボックス制度（自動走行）、完全自動走行
  - 3 閉会
- 

○事務局 続きまして法務省でございます。かなり時間が押してしましまして大変恐縮でございますが、手短かに御説明いただきたいと存じております。なぜお越しいただいたかと言いますと、こちらのサンドボックス制度の中で第三者専門家による監視、評価、紛争処理システムなどの事後チェックルール、ここの「紛争処理システム」というところで法務省にかかわり合いがあるのではないかということで、今回ワーキングのヒアリングにお越しいただいたという趣旨でございます。

それでは、座長、よろしく願いいたします。

○八田座長 どうもお忙しいところをお越しくささいまして、ありがとうございます。

それでは、早速、これについて御説明をお願いいたします。

○中辻参事官 すみません。特にこちらは説明するというのではなくて、質疑対応ということと言われたものと理解しておるのですが。

○八田座長 それでは、このように文章として入れてもよろしいかということですか。

- 藤原審議官 既に送らせていただいておりますけれども。
- 中辻参事官 概要として、国家戦略特区において情報公開や、監視、評価、紛争処理システムなどの「事後チェックルール」を整備することにより云々というところですね。  
特に私どものほうから何か意見を申すということはありません。
- 八田座長 分かりました。
- 原委員 それで結構ですと。
- 八田座長 このままの文面で結構ですと。
- 中辻参事官 私どものほうとしては、特にこれは何か意見を申したわけでもなく、なぜこの場に呼ばれているのかがいま一つよく分からないのです。
- 八田座長 それは申し訳ありません。
- 事務局 あとは自動走行の責任のところなどでかかわってくるということですので。
- 中辻参事官 それはまたこれとは別の話ですね。自動運転の話ですね。
- 藤原審議官 むしろ自動運転のところでしょう。
- 事務局 自動運転もこの短冊協議でさせていただいております、その中で。
- 藤原審議官 実証実験を実施しようとする民間事業者等からの要望に基づく無人自動車走行等に係る新たな制度として、公道実証実験に際しての、事故等に係る責任対象（現行は運転主個人）の見直しなどについても論点整理を行っていくと、この部分でございます。
- 中辻参事官 そこにつきましては、事前に事務局にお知らせしており、今日は刑事局が法務委員会の対応で出払っております来られないということはお伝えしていると思うのですが。
- 事務局 伺っておりました。
- 中辻参事官 私は民事局ですので、この点については特段意見がないということだけで今日終わるのかなと。
- 原委員 それは本当にすみません。
- 八田座長 それは本当に申し訳ありませんでした。
- 中辻参事官 よろしいでしょうか。
- 八田座長 どうもすみませんでした。
- 中辻参事官 先生方に謝っていただく必要は全くなくて、こちらが恐縮でございます。  
失礼いたします。
- 八田座長 どうもありがとうございました。